プリント(印刷)する

プリントのしかたあれこれ

撮影した画像は、3通りの方法でプリントできます。

お店で **プリントする** **(128ページ)**	 	撮影に使ったメモリーカードを、**プリントサービスのお店**に持参してプリントします。 • プリントしたい画像や枚数、日付の情報を設定しておくことができます。
自宅で **プリントする**	**プリンターでプリントする(128ページ)** 	**PictBridge**または**USB DIRECT-PRINT**に対応しているプリンターや、メモリーカードを差し込む**スロット**が付いているプリンターでプリントします。 • プリントしたい画像や枚数、日付の情報を設定しておくことができます。
	パソコンを使ってプリントする 	■Windowsパソコンの場合 付属のソフト(Photo Loader with HOT ALBUM)をパソコンにインストールした後、プリントします。 →「**Windowsパソコンを利用する**」(**135ページ**) ■Macintoshの場合 画像をパソコンに取り込んだ後、市販のプリントソフトを使ってプリントします。 →「**Macintoshを利用する**」(**147ページ**)

■ プリントについてのご注意

- 印刷品位や用紙の設定についてはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- PictBridgeやUSB DIRECT-PRINT対応プリンターの機種名やプリンターのバージョンアップなどについては、プリンターメーカーにお問い合わせください。
- プリント中は、ケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。プリンターがエラーを起すことがあります。

お店でプリントする

プリントしたい画像が記録されているメモリーカードを、プリントサービスを行っているカメラ店などに持参してプリントします。DPOF機能(130ページ)を使って、プリントしたい画像や枚数、日付プリントの設定をあらかじめしておくと、お店での手続きが簡単です。

お手持ちのプリンターでプリントする

お手持ちのプリンターが以下のどちらかのタイプの場合、パソコンを使わずにプリントできます。

- ご使用のメモリーカードに対応したメモリーカードスロット付のプリンター
- PictBridgeまたはUSB DIRECT-PRINTに対応しているプリンター

■ メモリーカードスロット付のプリンターでプリントする

メモリーカードをカメラから取り出し、プリンターのスロットに直接セットしてプリントできます。また、プリンターによってはカメラのDPOF機能(130ページ)で設定した内容(画像の指定、枚数、日付)が利用可能です。詳しくは、プリンターに付属の説明書にしたがって操作してください。

■ PictBridgeまたはUSB DIRECT-PRINT対応のプリンターでプリントする

カメラをプリンターに直接接続し、カメラの液晶モニター上でプリントする画像を選んでプリントできます。

- このカメラは付属のUSBケーブルでプリンターと接続しますが、すぐにカメラとプリンターを接続せずに、必ず以下の手順で進めてください。

1. 【MENU】を押す

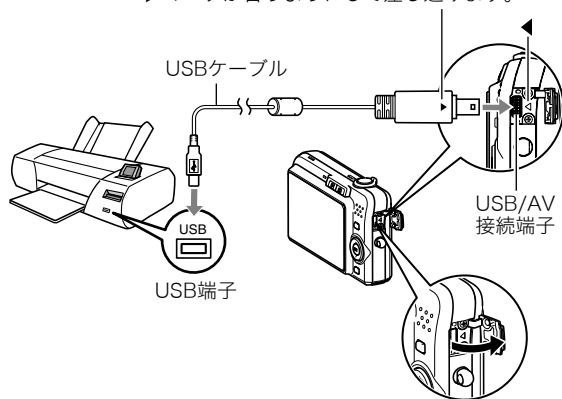
2. “設定”タブ→“USB”と選び、【▶】を押す

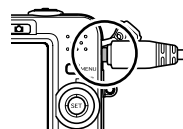
3. 【▲】【▼】で使用するプリンターに合わせて設定を選び、【SET】を押す

Mass Storage(USB DIRECT-PRINT):
ご使用のプリンターがUSB DIRECT-PRINT対応の場合、こちらを選びます。
PTP(PictBridge):
ご使用のプリンターがPictBridge対応の場合、こちらを選びます。

4. カメラの電源を切り、電池残量が十分な電池をセットする

- USBケーブルからは電源は供給されません。

5. 付属のUSBケーブルでカメラとプリンタを接続する

- 付属のUSBケーブルをカメラのUSB/AV接続端子に挿入する際は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと、通信不良や製品の故障の原因となります。

- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。
- USBケーブルをプリンタとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。

6. プリンターの電源を入れる

7. プリンターに印刷用紙をセットする

8. カメラの電源を入れる

カメラにプリントメニュー画面が表示されます。

9. 【▲】【▼】で"用紙サイズ"を選び、【▶】を押す

10. 【▲】【▼】でプリントする用紙サイズを選び、【SET】を押す

- 用紙サイズは次の通りです。
  "L判"、"2L判"、"はがき"、"A4"、"Letter"、"プリンタで設定"
- "プリンタで設定"を選ぶと、プリンター側で設定した用紙サイズでプリントされます。
- 用紙について設定できる内容は、接続したプリンターによって異なります。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

11. 【▲】【▼】でプリントの方法を指定する

1枚プリント　：1枚ずつプリントする場合に選び、【SET】を押します。続けて【◀】【▶】でプリントしたい画像を選びます。

DPOFプリント：複数の画像やすべての画像をプリントする場合に選び、【SET】を押します。DPOF機能で設定した画像がプリントされます。設定方法については130ページをご覧ください。

- 日付設定の入／切を切り替えるには、【BS】を押します。"あり"を表示させると、日付がプリントされます。

12. 【▲】【▼】で"プリント"を選び、【SET】を押す

プリントが始まり、液晶モニターに"処理中です　しばらくお待ちください"と表示されます。しばらくすると表示が消えますが、プリントは終了していません。カメラのいずれかのボタンを押すと、プリントの状況が再び表示されます。プリントが終了すると、プリントメニュー画面に戻ります。

- "1枚プリント"で別の画像をプリントする場合は、手順11から同様の操作を行ってください。

13. プリントが終了したらカメラの電源を切り、カメラをUSBケーブルから取りはずす

プリントする画像や枚数を指定しておく(DPOF)

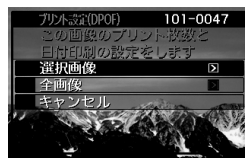
DPOF(Digital Print Order Format)とは、撮影した画像の中からプリントしたい画像や枚数などを設定し、その情報をメモリーカードなどの記録媒体に記録するための規格です。DPOF対応の家庭用プリンターやプリントサービス店でプリントすることができます。本機のDPOF機能を使えば、画像のファイル名などを意識することなく、液晶モニターで確認しながら設定ができます。
設定可能な内容は、画像／枚数／日付です。

重要

- プリンターによっては、日付の設定が無効になったり、DPOFに対応していない場合があります。プリンターの取扱説明書にしたがって操作してください。
- お店でプリントをする場合、DPOF機能を利用できない場合や他の方法でプリントを受け付けている場合があります。その際は、店頭のサービスにしたがってプリントをご依頼ください。

■ 画像ごとにプリント枚数を指定する

1. 再生モードにして【MENU】を押す

2. “再生機能”タブ→“プリント設定（DPOF）”と選び、【▶】を押す

3. 【▲】【▼】で“選択画像”を選び、【▶】を押す

4. 【◀】【▶】でプリントしたい画像を表示させる

5. 【▲】【▼】でプリントする枚数を決める

- プリント設定できる枚数は99枚までです。プリントしたくない場合は“00”にしてください。

6. 日付をプリントしたい場合は、【BS】を押して日付印刷を“あり”にする

- 日付が不要なときは、【BS】を押して日付印刷を“なし”にします。
- 他の画像をプリントする場合は、手順4〜6を繰り返してください。

7. 【SET】を押す

■ すべての画像に同じプリント指定をする

1. 再生モードにして【MENU】を押す

2. “再生機能”タブ→“プリント設定（DPOF）”と選び、【▶】を押す

3. 【▲】【▼】で“全画像”を選び、【▶】を押す

4. 【▲】【▼】でプリントする枚数を決める

- プリント設定できる枚数は99枚までです。プリントしたくない場合は“00”にしてください。

5. 日付をプリントしたい場合は、【BS】を押して日付印刷を“あり”にする

- 日付が不要なときは、【BS】を押して日付印刷を“なし”にします。

6. 【SET】を押す

次回のプリント時に気をつけていただきたいこと

プリントが完了してもDPOFの設定は自動的に解除されません。次回プリント時にも前回設定した画像がある場合、同じ画像がプリントされてしまいます。以前プリントした画像をプリントしない場合は、一度「すべての画像に同じプリント指定をする」（131ページ）の操作で、全画像プリントの枚数設定を“00”にしてから、あらためてプリント枚数を設定してください。

お店でプリントするときに気をつけていただきたいこと

お店にプリントを注文する場合は、注文時に「DPOFでプリントする画像、枚数、日付を設定済みです」とお伝えください。お伝えいただかないと、設定された内容（画像、枚数、日付）が反映されず、すべての画像がプリントされたり、日付がプリントされないことがあります。

日付プリントについて

以下の方法で、画像に撮影時の日付を入れてプリントすることができます。

- **本機のDPOF機能で指定する（130ページ）**
  - 本機のタイムスタンプ機能により、日付や時刻を写し込んだ画像にDPOFで日付印刷を設定すると、日付が2重に印刷されてしまいますので、DPOFによる日付印刷は設定しないでください。
  - プリンターによっては、日付の設定が無効になったり、DPOF機能に対応していない場合があります。プリンターの取扱説明書にしたがって操作してください。
  - プリントをするお店によってはDPOF機能に対応していない場合がありますので、あらかじめご確認ください。
- **本機のタイムスタンプ機能により日付や時刻を画像に直接写し込む（82ページ）**
- **付属のソフト「Photo Loader with HOT ALBUM」（135ページ）で日付を入れてプリントする（Windowsパソコンの場合）**
- **お店にプリントを注文するときに、日付プリントするよう依頼する**
  - プリントするお店によっては、日付をプリントできない場合がありますので、あらかじめご確認ください。

対応規格について

本製品は下記の規格に対応しています。

■ PictBridge

カメラ映像機器工業会(CIPA)制定の規格です。

■ USB DIRECT-PRINT

セイコーエプソン株式会社提唱の規格です。

■ PRINT Image Matching III

PRINT Image Matching III 対応プリンターでの出力および対応ソフトウェアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

PRINT Image Matching及びPRINT Image Matching III に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。

■ Exif Print

Exif Print(Exif2.2)は、対応プリンターをお使いの場合に画像ファイルに記録された撮影情報を印刷出力に反映させることを可能にします。

Exif Print対応プリンターの機種名やプリンターのバージョンアップ等については、各プリンターメーカーにお問い合わせください。

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラをパソコンに接続して、次のことができます。

画像を見る／保存する※	カメラの画像をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。 • Windowsパソコンの場合、OSのバージョンによっては、付属のUSBドライバをパソコンにインストールする必要があります。 • Macintoshの場合、USBドライバのインストールは不要です。
画像を管理／編集／印刷する	パソコンに保存した画像に対して、付属のソフトを使っていろいろな操作ができます。 • 以降の説明をお読みになり、必要なソフトをパソコンにインストールしてください。
画像を転送する	Windowsパソコンの場合のみ、パソコンに保存されている画像をカメラに転送できます。 • カメラで撮影した画像以外の画像も転送できます。また、パソコンに表示されている画面の一部（Webページの情報や地図など）をキャプチャー（切り抜き）して転送できます。

※ カメラとパソコンを接続せず、カメラから取り出したメモリーカードを直接パソコンにセットして、画像を見たり保存したりする方法もあります（152ページ）。

カメラとパソコン、付属のソフトを使ってできることや操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshパソコンの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」（135ページ）
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」（147ページ）

Windowsパソコンを利用する

OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
● パソコンで画像を見る ● パソコンに画像を保存	Vista／XP／2000／Me	ー （USBドライバは不要です。）	ー
	98SE／98	**USB driver Type B** （USBドライバです。必ずインストールしてください。）	137
パソコンに自動で画像を保存／画像の管理	Vista／XP／2000	**Photo Loader with HOT ALBUM 3.1** DirectX 9.0c（パソコンにDirectX 9.0以上がないとき）	142
動画の再生	Vista／XP／2000／Me／98SE／98	**DirectX 9.0c** Windows 2000／98SE／98の場合 パソコンにDirectX 9.0以上がない場合はDirectX 9.0cもインストールする（142ページ） ● 付属のCD-ROMにWindows Media Playerは収録されていませんが、パソコンにすでにインストールされているWindows Media Playerで再生することができます。	143
動画の編集	Vista／XP／2000／Me／98SE／98	ー ● 必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。	ー
画像の転送	Vista／XP／2000／Me／98SE／98	**Photo Transport 1.0**	144

■ 同梱ソフト使用時の動作環境について

使用するソフトによってパソコンに必要な動作環境が異なりますので、必ず確認してください。また、各ソフトの動作環境はアプリケーションを動作させるために必要な最低限の性能です。取り扱う画像サイズや枚数によって、これ以上の性能を必要とします。

USB driver Type B

- Windows Vista／XP／2000／Meの場合は、インストールする必要はありません。
- Windows 95／3.1からバージョンアップしたパソコンでは動作保証いたしません。

Photo Loader with HOT ALBUM 3.1

HD　：2GB以上
その他　：DirectX 9.0以上

DirectX 9.0c

HD　：インストールに65MB（HDは18MB）

Photo Transport 1.0

メモリ　：64MB以上
HD　：約2MB以上

重要

- 各ソフトの詳しい動作環境については、付属のCD-ROM（カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア）内の「お読みください」ファイルを参照して、ご確認ください。

■ 英語版のソフトを利用するときは

英語版のソフトを利用したいときは、CD-ROMから英語のソフトをインストールしてください。ただし、日本語版と英語版を2重インストールしないでください。

- 英語版のソフトをインストールするときは、CD-ROMをパソコンにセットして、日本語のMENU画面が表示されたら、“Language”の“English”をクリックします。

画像をパソコンで見る／パソコンに保存する

カメラをパソコンに接続して、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

- Windowsのバージョンによっては、付属のCD-ROMからUSBドライバをインストールする必要があります。

操作の流れ

1. Windows 98SE／98の場合、USBドライバをインストールする(137ページ) Windows Vista／XP／2000／Meの場合は、手順2に進む

2. カメラとパソコンを接続する(138ページ)

3. 画像ファイルを見る／保存する(139ページ)

■ USBドライバをインストールする(98SE／98の場合のみ)

USBドライバをインストールする前にカメラとパソコンを接続しない！
パソコンがカメラを認識しなくなります。
Windows 98SE／98をお使いの場合、必ず最初にUSBドライバをインストールしてください。
インストールが終わるまで、カメラとパソコンを接続しないでください。

以下の操作手順は、Windows 98の場合です。Windows 98SEの場合、表示画面などが若干異なりますが、操作の流れは同じです。

1. 付属のCD-ROM(カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア)をパソコンのCD-ROMドライブにセットする

メニュー画面が表示されます。

2. “USB driver B”をクリックして選び、“インストール”をクリックする

インストールが始まります。

3. ダイアログの指示にしたがって“次へ”をクリックする

4. 完了の画面が表示されたら、"完了"をクリックする

- セットアップ完了の画面が表示されると、ご使用のOSによってはパソコンの再起動を要求されることがあります。その場合は、再起動させます。

5. インストールが終わったら、"終了"をクリックしてメニューを終了してからCD-ROMを取り出す

- 機種によってはパソコンが自動的に再起動する場合があります。そのときに、CD-ROMのメニューが表示される場合があります。"終了"をクリックしてメニューを終了してからCD-ROMを取り出してください。

■ カメラとパソコンを接続する

1. 電池残量が十分な電池をセットする

2. カメラの電源を入れる

- USB接続は、撮影モードでも再生モードでも可能です。

3. 【MENU】を押す

4. "設定"タブ→"USB"と選び、【▶】を押す

5. 【▲】【▼】で"Mass Storage"を選び、【SET】を押す

6. カメラの電源を切り、付属のUSBケーブルでカメラのUSB/AV接続端子とパソコンのUSB端子を接続する

- 付属のUSBケーブルをカメラのUSB/AV接続端子に挿入する際は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと、通信不良や製品の故障の原因となります。
- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。
- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。

7. カメラの電源を入れる

カメラとパソコンを接続すると

USBモードになり、カメラの動作確認用ランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「リムーバブルディスク」として認識します。
カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。

- パソコンのOSの環境によっては、「リムーバブルディスク」ガイダンスが表示されることがあります。この場合は、ガイダンスを閉じてください。

重要

- 「カメラをパソコンから取りはずす」(141ページ)の操作を行わずにケーブルを抜かないでください。画像データが破壊される恐れがあります。

■ 2回目以降のパソコンとの接続

次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようにします(USBドライバのインストールおよびメニューからの設定が不要になります)。

1. カメラの電源を切り、USBケーブルでカメラとパソコンを接続する

2. カメラの電源を入れる

- USBモードになり、カメラの動作確認用ランプが緑色に点灯します。

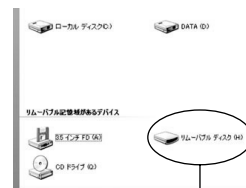
■ カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

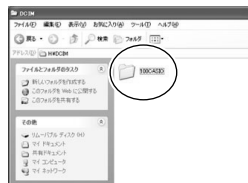
1. Windows XPの場合:
“スタート”→“マイコンピュータ”の順でクリックする
Windows Vistaの場合:
“スタート”→“コンピュータ”の順でクリックする
Windows 2000／Me／98SE／98の場合:
“マイコンピュータ”をダブルクリックする

Windows XPの場合

2. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。

リムーバブルディスク

3. “DCIM”フォルダをダブルクリックする

4. 見たい画像が入ったフォルダをダブルクリックする

5. 見たい画像ファイルをダブルクリックする

画像が表示されます。

- ファイル名については「メモリー内のフォルダ構造」(153ページ)を参照ください。

参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

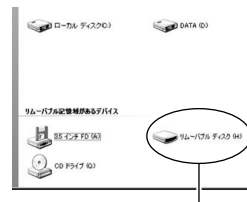
■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをパソコンに接続した状態で行います。

1. Windows XPの場合:
“スタート”→“マイコンピュータ”の順でクリックする
Windows Vistaの場合:
“スタート”→“コンピュータ”の順でクリックする
Windows 2000／Me／98SE／98の場合:
“マイコンピュータ”をダブルクリックする

Windows XPの場合

2. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。

リムーバブルディスク

3. “DCIM”フォルダを右ボタンでクリックする

4. メニューの“コピー”をクリックする

5. Windows XPの場合:
“スタート”→“マイドキュメント”の順でクリックする
Windows Vistaの場合:
“スタート”→“ドキュメント”の順でクリックする
Windows 2000／Me／98SE／98の場合:
“マイドキュメント”をダブルクリックして開く

- すでに“DCIM”フォルダが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

6. “マイドキュメント”メニューで、“編集”→“貼り付け”の順でクリックする

“DCIM”フォルダ(画像ファイルが保存されているフォルダ)が“マイドキュメント”フォルダにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。
- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

■ カメラをパソコンから取りはずす

- Windows Vista/XP/98SE/98の場合:
カメラの【ON/OFF】を押して、動作確認用ランプが消灯したのを確認してから、カメラを取りはずします。
- Windows 2000/Meの場合:
パソコン画面上のタスクトレイのカードサービスを左クリックし、カメラに割り当てられているドライブ番号の停止を選択します。その後、カメラを取りはずし、カメラの電源を切ります。

パソコンに自動で画像を保存する／画像を管理する

パソコンに保存した画像を管理するには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Loader with HOT ALBUMをパソコンにインストールします。Photo Loader with HOT ALBUMを使用すれば、パソコンに画像を自動で取り込んで、撮影年月日で整理ができ、カレンダー形式で表示することができます。

■ Photo Loader with HOT ALBUMをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。

2. "Photo Loader with HOT ALBUM 3.1"をクリックして選び、"お読みください"をクリックして読む

- インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

3. Photo Loader with HOT ALBUMの"インストール"をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

Photo Loader with HOT ALBUMがインストールされます。

DirectXの確認

Photo Loader with HOT ALBUMで取り込んだ画像を管理するには、パソコンにDirectX 9.0以上がインストールされている必要があります。パソコンの「DirectX 診断ツール」を見てDirectXのバージョンを確認してください。

1. パソコンのメニューで"スタート"→"すべてのプログラム"→"アクセサリ"→"システムツール"の順でたどり、"システム情報"を開く

2. メニューバーから"ツール"→"DirectX 診断ツール"の順で開く

3. "システム"タブをクリックし、"DirectX バージョン"が9.0以上であることを確認する

4. “終了”をクリックして「DirectX 診断ツール」を終了する

- DirectX 9.0以上がインストールされている場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールする必要はありません。
- DirectX 9.0以上がインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されている「DirectX 9.0c」をインストールしてください。

動画を再生する

動画はパソコンにすでにインストールされているWindows Media Playerで再生することができます。パソコンに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。

■ 動画再生のご注意

- 必ず動画データはパソコンに保存してから再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は以下をお試しください。
  - 動画の画質を“標準-Normal”または“長時間-LP”に設定して撮影する。
  - 最新のWindows Media Playerにバージョンアップする。
  - 開いている他のソフトウェアを閉じたり、常駐ソフトを止める。

なお、パソコンで正しく動作しない場合でも、付属のAVケーブルを使って映像入力端子を持ったテレビやパソコンで再生することができます。

カメラに画像を転送する

パソコンに取り込んだ画像を、もう一度カメラへ戻すには、付属のCD-ROMに収録されているPhoto Transportをパソコンにインストールします。

■ Photo Transportをインストールする

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。

2. "Photo Transport"をクリックして選び、"お読みください"をクリックして読む

- インストールするために必要な条件や動作環境が書かれています。

3. Photo Transportの"インストール"をクリックする

4. 画面の指示にしたがって操作する

Photo Transportがインストールされます。

■ 画像ファイルをカメラに転送する

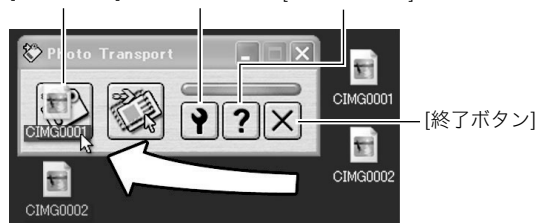
1. あらかじめカメラをパソコンに接続しておく

- パソコンとの接続方法は、138ページをご覧ください。

2. パソコンのメニューで"スタート"→"すべてのプログラム"→"Casio"→"Photo Transport"の順でクリックして、Photo Transportを開く

Photo Transportが起動します。

3. Photo Transportの[転送ボタン]に転送したい画像ファイルをドラッグアンドドロップする

ドラッグアンドドロップは次のようにします。転送したい画像ファイルに" "(矢印)を合わせ、マウスの左ボタンを押したままにします。そのままPhoto Transportの[転送ボタン]に画像データを引きずり、マウスの左ボタンを離します。

4. 画面の指示にしたがって操作する

画像ファイルがカメラに転送されます。

- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくは[設定ボタン]や[ヘルプボタン]を押して設定内容を確認してください。

重要

- 動画は転送できません。
- 転送できる画像は下記の拡張子の画像データです。
  .jpg、.jpeg、.jpe、.bmp(.bmpはJPEG画像に変換されて転送されます。)

■ パソコンの画面をカメラに転送する

パソコンに表示されている画面を取り込んで、画像ファイルとしてカメラへ送ることができます。

1. あらかじめカメラをパソコンに接続しておく

- パソコンとの接続方法は、138ページをご覧ください。

2. パソコンのメニューで"スタート"→"すべてのプログラム"→"Casio"→"Photo Transport"の順でクリックして、Photo Transportを開く

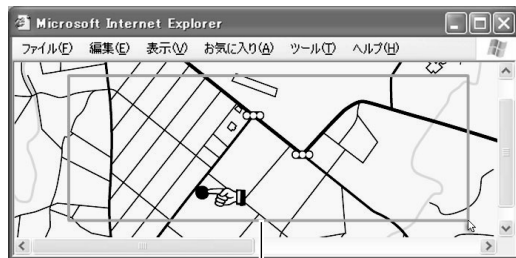
Photo Transportが起動します。

3. 転送したい画面を表示する

4. Photo Transportの[キャプチャーボタン]をクリックする

[キャプチャーボタン]

5. 転送したい範囲を囲む

転送したい部分の左上に" "(矢印)を移動してマウスの左ボタンを押したままにし、そのままマウスを右下へずらすことで転送したい範囲を囲みます。

転送される範囲

6. 画面の指示にしたがって操作する

囲んだ範囲の画像がカメラに転送されます。

- 画面の指示や転送される画像の詳細はPhoto Transportの設定によって異なります。詳しくは[設定ボタン]や[ヘルプボタン]を押して設定内容を確認してください。

重要

- キャプチャーした画像はJPEG画像に変換されて転送されます。

■ 設定／ヘルプについて

設定内容の変更は[設定ボタン]をクリックして変更します。設定内容、操作方法やトラブルシューティングについては、Photo Transportの[ヘルプボタン]をクリックしてヘルプをご覧ください。

ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。ユーザー登録をするには、パソコンがインターネットに接続されていることが必要です。

「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」へのユーザー登録となります。ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体や付属ソフトのバージョンアップのご連絡その他情報発信を目的としています。付属ソフトウェアについては、ユーザー登録をしなくてもインストールや使用は可能です。

1. パソコンを起動し、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

- パソコンの設定によっては、自動的にメニュー画面が表示されない場合があります。その場合は、CD-ROMが割り当てられているドライブを開き、MENU.exeをダブルクリックしてください。

2. “オンラインユーザ登録”をクリックする

Webブラウザソフトが起動し、ユーザー登録が可能になります。

3. 画面の指示にしたがってユーザー登録を行う

4. ユーザー登録が終了したら、インターネットの接続を終了する

- 下記のアドレスからもユーザー登録ができます。
  http://www.casio.jp/reg/dc/

CD-ROMのメニューを終了する

CD-ROMのメニューを終了するには、“終了”をクリックします。

Macintoshを利用する

Macintosh OSのバージョンおよび使用目的に応じて、必要なソフトをインストールしてください。

使用目的	OSのバージョン	インストールするソフト	参照ページ
• パソコンで画像を見る • パソコンに画像を保存	OS 9／OS X	• USBドライバは不要です。	148
パソコンに自動で画像を保存／画像の管理	OS 9	• 市販のソフトをご利用ください。	150
	OS X	• OSにバンドルされているiPhotoが利用できます。	−
動画の再生	OS 9	• 市販のソフトをご利用ください。	151
	OS X	• OSにバンドルされているQuickTimeで再生できます。	

画像をパソコンで見る／パソコンに保存する

カメラをパソコンに接続し、画像(静止画や動画などのファイル)をパソコンで見たり、パソコンに保存することができます。

重要

- Mac OS 8.6以前、またはMac OS Xの10.0ではご使用できません。Mac OS 9、X(10.1、10.2、10.3、10.4)のみで使用できます(OS標準のUSBドライバを使用)。

■ カメラとMacintoshを接続する

1. 電池残量が十分な電池をセットする

2. カメラの電源を入れる

- USB接続は、撮影モードでも再生モードでも可能です。

3. 【MENU】を押す

4. "設定"タブ→"USB"と選び、【▶】を押す

5. 【▲】【▼】で"Mass Storage"を選び、【SET】を押す

6. カメラの電源を切り、付属のUSBケーブルでカメラのUSB/AV接続端子とパソコンのUSB端子を接続する

- 付属のUSBケーブルをカメラのUSB/AV接続端子に挿入する際は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと、通信不良や製品の故障の原因となります。
- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。
- USBケーブルをパソコンとカメラに接続するときは、それぞれの機器のUSB端子の形状とケーブルの接続端子の形状を合わせて接続してください。

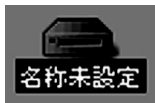
7. カメラの電源を入れる

カメラとパソコンを接続すると

USBモードになり、カメラの動作確認用ランプが緑色に点灯します。パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。

Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。

カメラのUSB設定を変更しない限り、次回からは手順3から5の操作は不要です。

重要

- 「カメラをパソコンから取りはずす」(150ページ)の操作を行わずにケーブルを抜いたりしないでください。画像のデータが破壊される恐れがあります。

■ 2回目以降のパソコンとの接続

次にカメラとパソコンを接続するときは、以下のようにします(メニューからの設定が不要になります)。

1. カメラの電源を切り、USBケーブルでカメラとパソコンを接続する

2. カメラの電源を入れる

- USBモードになり、カメラの動作確認用ランプが緑色に点灯します。

■ カメラの画像をパソコンで見る

カメラとパソコンを接続した状態で、パソコンでカメラの画像を見ることができます。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする

2. 「DCIM」フォルダをダブルクリックする

3. 見たい画像の入ったフォルダをダブルクリックする

4. 見たい画像ファイルをダブルクリックする

画像が表示されます。

重要

- パソコンのモニターに同一の画像を表示したまま放置しないでください。残像現象(画面焼け)の原因になります。

参考

- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 画像をパソコンに保存する

パソコンで画像を加工したりアルバムを作るには、画像をパソコン内に保存する必要があります。保存は、カメラをパソコンに接続した状態で行います。

1. 表示されたドライブをダブルクリックする

2. 「DCIM」フォルダを保存したいフォルダにドラッグアンドドロップする

「DCIM」フォルダがMacintosh内のフォルダにコピーされます。

- ドラッグアンドドロップとは、マウスのポインタ（矢印）が画像ファイルのアイコン上に重なった状態でマウスのボタンを押し、そのままマウスを移動（ドラッグ）させて、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）操作のことをいいます。

重要

- 内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンにコピーした画像で行ってください。
- 画面を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

■ カメラをパソコンから取りはずす

1. 画面上のカメラのドライブをゴミ箱へドラッグアンドドロップする

2. カメラの【ON/OFF】を押し、動作確認用ランプが消灯しているのを確認してから、カメラをUSBケーブルから取りはずす

パソコンに自動で画像を保存する／画像を管理する

Mac OS Xをお使いの場合は、OSにバンドルされているiPhotoを使って静止画像の管理ができます。
Mac OS 9をお使いの場合は、市販のソフトをご利用ください。

動画を再生する

動画はMacintoshにすでにインストールされているQuickTimeで再生することができます。Macintoshに動画をコピーしてから、画像ファイルをダブルクリックして再生してください。

■ 動画再生時のご注意

お使いのMacintoshの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は、以下をお試しください。

- 動画の画質を“標準－Normal”または“長時間－LP”にして撮影する
- 最新のQuickTimeにバージョンアップする
- 実行中の他のソフトウェアを終了する

なお、Macintoshで正しく動作しない場合でも、付属のAVケーブルを使って映像入力端子を持ったテレビやMacintoshで再生することができます。

重要

- 必ず動画データはパソコンに保存してから再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。

ユーザー登録をする

パソコンからインターネットを通してのみ、ユーザー登録をすることができます。「カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト」で登録を行ってください。

ユーザー登録アドレス　http://www.casio.jp/reg/dc/

ユーザー登録で登録いただいた個人情報のお取り扱いに関しては、Webサイト上の「ご利用になる前に」に記載されていますので、ご確認ください。ユーザー登録はデジタルカメラ本体のご連絡その他情報発信を目的としています。

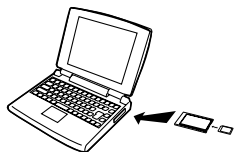
メモリーカードを直接パソコンに接続して画像を保存する

パソコンの機種によって接続方法が異なります。代表的な接続方法は次の通りです。接続後はカメラ接続時と同様の操作で画像の保存ができます。

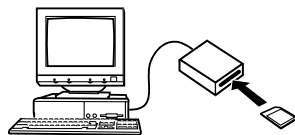
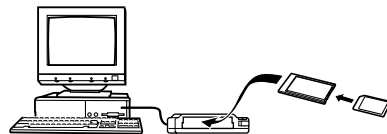
■ メモリーカードスロットのある機種

ご使用のメモリーカードに対応しているかご確認のうえ、メモリーカードを直接差し込みます。

■ PCカードスロットのある機種

ご使用のメモリーカードに対応した市販のPCカードアダプターを使用します。具体的な使用方法は、PCカードアダプターとパソコンに付属の取扱説明書を参照ください。

■ 前記以外の機種

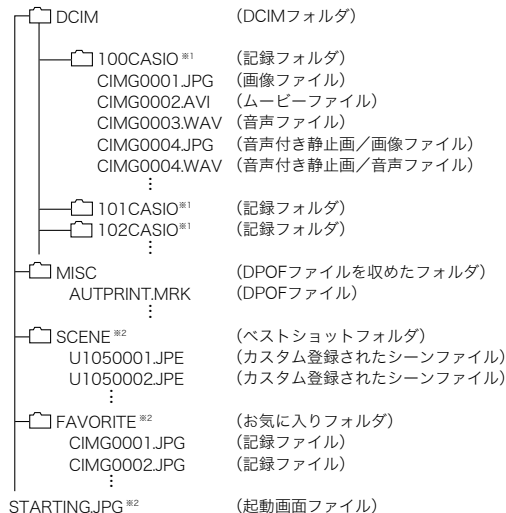
以下のどちらかの方法で接続します。

– ご使用のメモリーカードに対応した市販のメモリーカード用リーダー／ライターを使用します。具体的な使用方法は、メモリーカード用リーダー／ライターに付属の取扱説明書を参照ください。

– 市販のPCカード用リーダー／ライターとご使用のメモリーカードに対応した市販のPCカードアダプターを使用します。具体的な使用方法は、PCカード用リーダー／ライターとPCカードアダプターに付属の取扱説明書を参照ください。

メモリー内のデータについて

本機で撮影された画像やその他のデータは、DCF(Design rule for Camera File system)規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ DCF規格について

DCF規格対応の機器(デジタルカメラやプリンターなど)の間で画像の互換性があります。画像ファイルのデータ形式やメモリー内のフォルダ構造に規定がありますので、本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見たり、この規格対応の他社のプリンターで印刷したりすることができます。逆にDCF規格対応の他社のデジタルカメラの画像も本機で見ることができます。

■ メモリー内のフォルダ構造

※1 本機のベストショットモードにはオークションサイトへの出展品を撮影する“オークション”のシーンを収録しています。このシーンで撮影した場合、記録フォルダ名は「100_AUCT」となります。
※2 内蔵メモリー内にのみ作成されるフォルダです。

フォルダ／ファイルの内容

- DCIMフォルダ:
  カメラで扱うファイルすべてを収めたフォルダです。
- 記録フォルダ:
  カメラで記録したファイルを収めたフォルダです。
- 画像ファイル:
  カメラで撮影した画像ファイルです。拡張子は「JPG」です。
- ムービーファイル:
  カメラで撮影したムービーファイルです。拡張子は「AVI」です。
- 音声ファイル:
  カメラで記録した音声ファイルです。拡張子は「WAV」です。
- 音声付き静止画／画像ファイル:
  音声付き静止画の画像を記録したファイルです。拡張子は「JPG」です。
- 音声付き静止画／音声ファイル:
  音声付き静止画の音声を記録したファイルです。拡張子は「WAV」です。
- DPOFファイルを収めたフォルダ:
  DPOFファイルなどを収めたフォルダです。
- ベストショットフォルダ:
  カスタム登録されたシーンファイルを収めたフォルダです。
- カスタム登録されたシーンファイル:
  ベストショットモードで使用されるファイルです。
- お気に入りフォルダ:
  お気に入りの画像ファイルを収めたフォルダです。320×240 pixelsの画像として収められています。
- 起動画面ファイル:
  起動画面を記録したファイルです。起動画面を設定した場合に作成されます。

■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

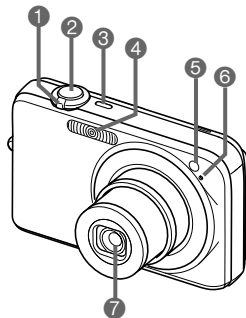
- メモリーの内容をパソコンのハードディスクやCD-R、MOディスクなどに保存する際は“DCIM”フォルダごと保存してください。その際“DCIM”フォルダの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンのハードディスクなどに保存したファイルを再度メモリーに戻して本機で再生する場合は、フォルダ名をパソコン上で“DCIM”に戻してからご使用ください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダは認識されません。“DCIM”フォルダ内の他のフォルダ名を変えた場合も同様です。元の名前に戻してから使用してください。
- フォルダやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダ構造が153ページのフォルダ構造の通りである必要があります。

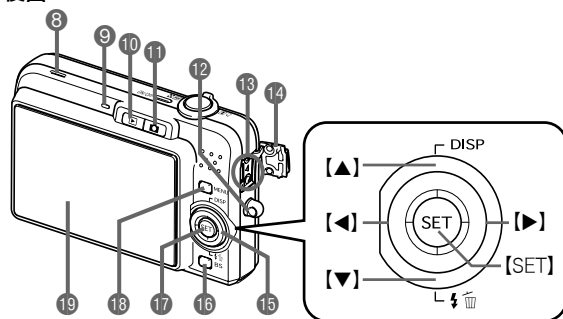
付録

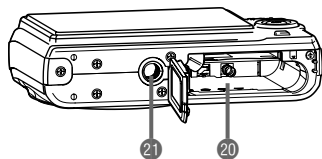
各部の名称

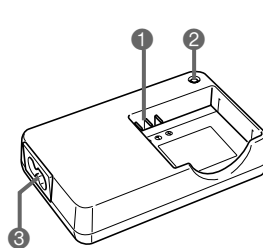
各部の説明が記載されている主なページを（　　）内に示します。

■ カメラ本体

前面

❶ ズームレバー
　(45, 94, 95ページ)
❷ シャッター(40ページ)
❸ 【ON/OFF】(電源)
　(27ページ)
❹ フラッシュ(47ページ)
❺ AF補助光／
　セルフタイマーランプ
　(39, 52, 162ページ)
❻ マイク(55, 57ページ)
❼ レンズ

後面

❽ スピーカー(89ページ)
❾ 動作確認用ランプ
　(27, 40, 162ページ)
❿ 【▶】(再生)ボタン
　(27, 125ページ)
⓫ 【●】(撮影)ボタン
　(27, 125ページ)
⓬ ストラップ取り付け部
　(2ページ)
⓭ USB/AV接続端子
　(92ページ)
⓮ 端子カバー
⓯ コントロールボタン
　(【▲】【▼】【◀】【▶】)
⓰ 【BS】ボタン(58ページ)
⓱ 【SET】ボタン
⓲ 【MENU】ボタン
　(34ページ)
⓳ 液晶モニター
　(35ページ)

底面

⑳ 電池／メモリーカード挿入部(24, 31ページ)
㉑ 三脚穴
三脚に取り付けるときに使用します。

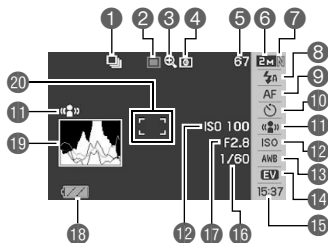
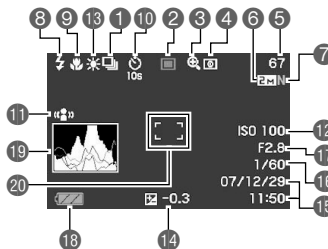
■ 充電器

❶ ⊕、⊖ 接点
❷【CHARGE】ランプ
❸ ACジャック

液晶モニターの表示内容

液晶モニターには、さまざまな情報が、アイコンや数字などで表示されます

- 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面のようになることはありません。

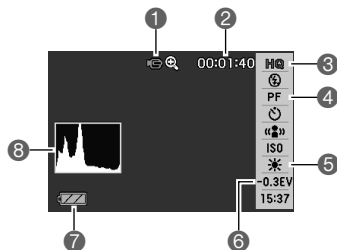
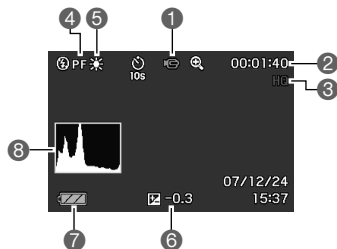
■ 静止画撮影モード時

操作パネル：入

操作パネル：切

❶ 連写モード（52ページ）
❷ 撮影の種類
❸ デジタルズーム表示（46ページ）
❹ 測光方式（79ページ）
❺ 静止画撮影可能枚数（173ページ）
❻ 静止画の画像サイズ（42ページ）
❼ 静止画の画質（43ページ）
❽ フラッシュモード（47ページ）
❾ フォーカス方式（69ページ）
❿ セルフタイマーモード（51ページ）
⓫ ブレ軽減（61ページ）
⓬ ISO感度（78ページ）
⓭ ホワイトバランス設定（77ページ）
⓮ 露出補正（75ページ）
⓯ 日付／時刻（122ページ）
⓰ シャッター速度（40ページ）
⓱ 絞り値（40ページ）
⓲ 電池残量（25ページ）
⓳ ヒストグラム（83ページ）
⓴ フォーカスフレーム（40, 72ページ）

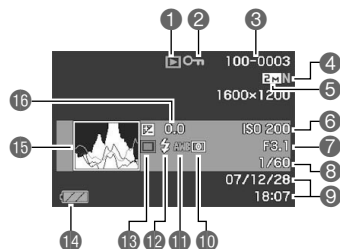
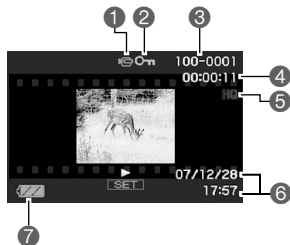
重要

- 絞り値、シャッター速度、ISO感度は、AE（自動露出）が適正でない場合、シャッターを半押ししたとき、オレンジ色で表示されます。

■ 動画撮影モード時

操作パネル:入

操作パネル:切

❶ 撮影の種類
❷ 動画の残り撮影時間（57ページ）
❸ 動画の画質（56ページ）
❹ フォーカス方式（69ページ）
❺ ホワイトバランス設定（77ページ）
❻ 露出補正（75ページ）
❼ 電池残量（25ページ）
❽ ヒストグラム（83ページ）

■ 静止画再生モード時

❶ ファイル形態（88ページ）
❷ プロテクト表示（114ページ）
❸ フォルダ名／ファイル名（113ページ）
❹ 静止画の画質（43ページ）
❺ 静止画の画像サイズ（42ページ）
❻ ISO感度（78ページ）
❼ 絞り値（40ページ）
❽ シャッター速度（40ページ）
❾ 日付／時刻（122ページ）
❿ 測光方式（79ページ）
⓫ ホワイトバランス設定（77ページ）
⓬ フラッシュモード（47ページ）
⓭ 撮影の種類
⓮ 電池残量表示（25ページ）
⓯ ヒストグラム（83ページ）
⓰ 露出補正（75ページ）

■ 動画再生モード時

1. ファイル形態(89ページ)
2. プロテクト表示(114ページ)
3. フォルダ名／ファイル名(113ページ)
4. 動画の撮影時間(89ページ)
5. 動画の画質(56ページ)
6. 日付／時刻(122ページ)
7. 電池残量表示(25ページ)

メニュー一覧表

【MENU】を押したときに表示されるメニューの一覧表です。撮影モード、再生モードでそれぞれ項目が異なります。

- 「*」この印のある項目は初期値です。

撮影モード

■ "撮影設定"タブ

フォーカス方式	AF(オートフォーカス)*／マクロ／PF(パンフォーカス)／∞(無限遠)／MF(マニュアルフォーカス)
連写	通常連写／高速連写／フラッシュ連写／ズーム連写／切*
セルフタイマー	10秒／2秒／×3／切*
ブレ軽減	オート／切*
AFエリア	スポット*／マルチ／追尾
AF補助光	入*／切
左右キー設定	測光方式／EVシフト／ホワイトバランス／ISO感度／セルフタイマー／切*
クイックシャッター	入*／切
音声付静止画	入／切*
グリッド表示	入／切*

デジタルズーム	入*／切
撮影レビュー	入*／切
アイコンガイド	入*／切
モードメモリ	BS ベストショット：入／切* フラッシュ：入*／切 フォーカス方式：入／切* ホワイトバランス：入／切* ISO感度：入／切* AFエリア：入*／切 測光方式：入／切* セルフタイマー：入／切* フラッシュ光量：入／切* デジタルズーム：入*／切 MF位置：入／切* ズーム位置：入／切*

■ "画質設定"タブ

サイズ	10M（3648×2736）*／ 3：2（3648×2432）／ 16：9（3648×2048）／ 5M（2560×1920）／3M（2048×1536）／ 2M（1600×1200）／VGA（640×480）
画質（静止画）	高精細-F／標準-N*／エコノミー-E
画質（動画）	HQ*／Normal／LP
EV シフト	－2.0／－1.7／－1.3／－1.0／－0.7／ －0.3／0.0*／＋0.3／＋0.7／＋1.0／ ＋1.3／＋1.7／＋2.0
ホワイトバランス	オート*／太陽光／曇天／ 日陰／N昼白色／D昼光色／ 電球／マニュアル
ISO感度	オート*／ISO 80／ISO 100／ISO 200／ ISO 400／ISO 800
測光方式	マルチ*／中央重点／スポット
ダイナミックレンジ	拡大＋2／拡大＋1／切*
美肌処理	ノイズ消去＋２／ノイズ消去＋１／切*
カラーフィルター	切*／白黒／セピア／赤／緑／青／黄／ ピンク／紫
シャープネス	＋2／＋1／0*／－1／－2
彩度	＋2／＋1／0*／－1／－2
コントラスト	＋2／＋1／0*／－1／－2
フラッシュ光量	＋2／＋1／0*／－1／－2
フラッシュアシスト	オート*／切

■ "設定"タブ

操作パネル	入*／切
表示	ワイド*／4：3

液晶設定	オート2*／オート1／+2／+1／切
操作音	起動音*／ハーフシャッター／シャッター／操作音／🔊操作音／🔊再生音
起動画面	入(画像選択)／切*
ファイルNo.	メモリする*／メモリしない
ワールドタイム	自宅*／訪問先
	ホームタイムの詳細設定(都市名、サマータイムなど)
	ワールドタイムの詳細設定(都市名、サマータイムなど)
タイムスタンプ	日付／日付+時刻／切*
日時設定	日付と時刻の設定
表示スタイル	年/月/日／日/月/年／月/日/年
Language	画面のメッセージ言語の変更
スリープ	30秒／1分*／2分／切
オートパワーオフ	1分*／2分／5分
REC／PLAY	パワーオン*／パワーオン/オフ／切
USB	Mass Storage(USB DIRECT-PRINT)*／PTP(PictBridge)
ビデオ出力	NTSC 4:3*／NTSC 16:9／PAL 4:3／PAL 16:9
フォーマット	フォーマット／キャンセル*
リセット	リセット／キャンセル*

再生モード

■ “再生機能”タブ

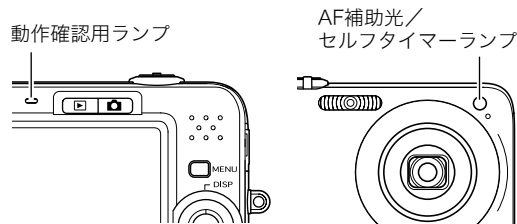
スライドショー	開始*／表示画像／時間／間隔／エフェクト／キャンセル
カレンダー表示	−
レイアウトプリント	−
モーションプリント	9コマで作成*／1コマで作成／キャンセル
ムービーカット	(前)カット／(中)カット／(後)カット／キャンセル*
ダイナミックレンジ	拡大+2／拡大+1／切*
ホワイトバランス	太陽光／曇天／日陰／N昼白色／D昼光色／電球／キャンセル
明るさ編集	+2／+1／0*／−1／−2
アングル補正	−
退色補正	−
お気に入り	表示*／登録／キャンセル

プリント設定 (DPOF)	選択画像*／全画像／キャンセル
プロテクト	オン*／全ファイル オン／キャンセル
日時編集	ー
回転表示	回転*／キャンセル
リサイズ	5M(2560×1920)*／3M(2048×1536)／VGA(640×480)／キャンセル
トリミング	ー
アフレコ	ー
コピー	内蔵→カード*／カード→内蔵／キャンセル

■ “設定”タブ

- 再生モードの“設定”タブの内容は、撮影モードの“設定”タブと同じです。

ランプの状態と表示内容

カメラ本体には動作確認用ランプとAF補助光／セルフタイマーランプの2つのランプがあります。これらのランプは、カメラの動作内容によって、点灯したり点滅したりします。

撮影モード時

動作確認用ランプ		内容
色	状態	
緑	点灯	起動中(電源オン時、撮影可)／オートフォーカス合焦／LCDオフ／スリープ中
	点滅	ムービー取り込み中／画像処理中／撮影記録中／オートフォーカス合焦不可／フォーマット中／終了中(電源オフ時)
赤	点灯	メモリーカードロック／フォルダ作成不可／メモリーフル／書き込みエラー
	点滅	メモリーカード異常／メモリーカード未フォーマット／カスタム登録不可／電池交換警告
オレンジ	点滅	フラッシュ充電中

AF補助光／セルフタイマーランプ		内容
色	状態	
赤	点滅	セルフタイマーカウントダウン

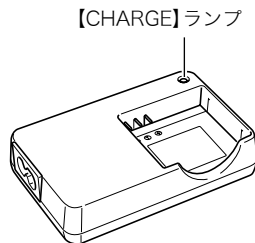
重要

- 動作確認用ランプが緑色に点滅中にメモリーカードを取り出すことは絶対におやめください。撮影された画像がメモリーカードに記録されずに消えてしまいます。

再生モード時

動作確認用ランプ		内容
色	状態	
緑	点灯	起動中(電源オン時、撮影可)
	点滅	消去実行中／DPOF実行中／プロテクト実行中／コピー実行中／フォーマット中／リサイズ処理中／トリミング処理中／アフレコ処理中／アングル補正中／退色補正中／モーションプリント処理中／レイアウトプリント処理中／ムービーカット処理中／終了中(電源オフ時)
赤	点灯	メモリーカードロック／フォルダ作成不可／メモリーフル／書き込みエラー
	点滅	メモリーカード異常／メモリーカード未フォーマット／電池交換警告

充電器のランプ

充電器には【CHARGE】ランプがあり、充電器の動作内容によって、点灯したり、点滅したりします。

【CHARGE】ランプ	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	充電器または電池の異常
消灯	充電完了または充電待機中(周辺温度が高い、または低いため)

故障かな？と思ったら

現象と対処方法

現象	考えられる原因と対処
電源について	
電源が入らない。	1) 電池が正しい向きに入っていない(24ページ)。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(23ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは電池の寿命です。別売の当社のリチウムイオン充電池(NP-40)をお買い求めください。
電源が勝手に切れた。	1) オートパワーオフが働いた可能性があります(29ページ)。再度電源を入れ直してください。 2) 電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(23ページ)。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが作動しない。	カメラから電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
撮影について	
シャッターを押しても撮影できない。	1) 再生モードになっている場合は、【📷】(撮影)を押して撮影モードにしてください。 2) フラッシュの充電中は、フラッシュの充電が終わるまで待ってください。 3) "メモリがいっぱいです"と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
オートフォーカスなのにピントが合わない。	1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) 被写体がフォーカスフレームの中央にありません。 3) ピントの合いにくい被写体の可能性があります(44ページ)。マニュアルフォーカスモードに切り替えて手動でピントを合わせてください(74ページ)。 4) 手ぶれしている可能性がありますので、ブレ軽減の撮影状態に設定してください(61ページ)。または、三脚を使用してください。 5) シャッターを半押しせず、クイックシャッターで撮影した場合にピントが合わない場合があります。シャッターの半押しを確実に行ってピントを合わせてください。
撮影した画像の被写体がボケている。	ピントが合っていない可能性があります。ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせて撮影してください。

現象	考えられる原因と対処
フラッシュが発光しない。	1) フラッシュの発光方法が“ ”(発光禁止)になっている場合は、発光方法を他の方法に切り替えてください(47ページ)。 2) 電池が消耗している場合は、電池を充電してください(23ページ)。 3) ベストショットモードでフラッシュが“ ”(発光禁止)のシーンを選んでいる場合は、必要に応じてフラッシュの発光方法を切り替えるか(47ページ)、撮影したいシーンを選び直して(58ページ)ください。
セルフタイマーでの撮影の途中で電源が切れた。	電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(23ページ)。
液晶モニターに表示される画像のピントがあまい。	1) マニュアルフォーカスモードでピント合わせがずれています。ピントを正しく合わせてください(74ページ)。 2) 被写体が風景や人物なのに“ ”(マクロモード)になっています。風景や人物を撮影する場合は、オートフォーカスモードにしてください (70ページ)。 3) 接写しているのに、オートフォーカスモードや“ ”(無限遠モード)になっています。接写撮影をする場合は“ ”(マクロモード)にしてください(71ページ)。
液晶モニターに表示される画面に縦線が入る。	極端に明るい被写体を撮影すると、液晶モニター上の画像に、縦に尾を引いたような光の帯が表示される場合があります(スミア現象)。これはCCD特有の現象で、故障ではありません。なお、この帯は静止画には記録されませんが、動画にはそのまま記録されますので、ご注意ください。
画像にノイズが入る。	1) 被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。 2) 暗い場所でフラッシュを“ ”(発光禁止)にして撮影すると、ノイズが発生し、多少ざらついた感じになることがあります。その場合は、フラッシュの発光方法を切り替えるか(47ページ)、ライトなどを使用して明るくして撮影してください。 3) 静止画撮影でフラッシュアシスト機能、またはダイナミックレンジ機能を使うと、ノイズが増えることがあります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。
撮影したのに画像が保存されていない。	1) 記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。電池残量表示が になったら、速やかに電池を充電してください(23ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた場合、画像は保存されません。記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。フラッシュを“ ”(強制発光)にしてください(日中シンクロ撮影)(47ページ)。または、EVシフトを＋側に調整してください(75ページ)。

B

現象	考えられる原因と対処
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。フラッシュを“⚡”（強制発光）にしてください（日中シンクロ撮影）（47ページ）。または、EVシフトを＋側に調整してください（75ページ）。
デジタルズーム（HDズーム含む）が効かない。ズームバーが3.0倍までしか表示されない。	1) デジタルズームの設定が“切”になっている可能性があります。設定を“入”にしてください（47ページ）。 2) タイムスタンプを使用していると、デジタルズームが使用できません。タイムスタンプの設定を“切”にしてください（82ページ）。
動画撮影中に画像がぼける。	1) 撮影範囲外のためピントが合っていません。撮影範囲内で撮影してください。 2) ピントの合いにくい被写体を撮影している可能性があります（44ページ）。 3) レンズが汚れている可能性があります。清掃してください（21ページ）。
再生について	
再生した画像の色が撮影時に液晶モニターで見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている可能性があります。直接光がレンズに当たらないようにしてください。
画像が表示されない。	DCF規格に準拠していない他のデジタルカメラで撮影したメモリーカードを使用した場合は、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
画像編集（レイアウトプリント、リサイズ、トリミング、アングル補正、退色補正、日時編集、回転）ができない。	次の画像は編集できません。 • モーションプリント機能で作成した画像 • 動画 • 他のカメラで撮影した画像

現象	考えられる原因と対処
その他	
画面に表示される日時が合っていない。	日時の設定が間違っているので、日時を設定し直してください(122ページ)。
画面に表示される言葉が外国語になっている。	表示言語の設定が間違っているので、表示言語を設定し直してください(124ページ)。
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクター端子部を確認して、確実に接続してください。 2) USBドライバがインストールされていない可能性があります。USBドライバをインストールしてください(137ページ)。 3) USBドライバが間違ってインストールされてしまった可能性があります。USBドライバを正しくインストールし直してください(137ページ)。 4) USB通信の方法が正しく設定されていない可能性があります。USB通信の方法を接続する機器に合わせて正しく設定してください(125ページ)。 5) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。
カメラの電源を入れると、言語設定画面が表示される。	1) ご購入直後の初期設定をしていないか、電池が消耗した状態でカメラを放置しています。各設定を確実に行ってください(10、123ページ)。 2) カメラ内部のメモリー管理エリアが壊れている恐れがあります。この場合は、リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(87ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに言語設定画面が表示されなければ、カメラ内部のメモリー管理エリアが修復されました。 再度電源を入れても言語設定画面が表示される場合は、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください(186ページ)。

USBドライバを正しくインストールできない場合は

Windows 98SE／98でUSBドライバをインストールしようとしたが、正しくインストールできない場合は、次のような原因が考えられます。

■ 考えられる原因

1) Windows 98SE／98を使用しているパソコンで、付属のCD-ROM（カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア）からUSBドライバをインストールする前にカメラを接続したことなどにより、別のドライバをインストールしてしまった。
2) 他の原因で正しくUSBドライバがインストールできなかった。

■ 対処方法

パソコンとデジタルカメラをUSB接続して、「マイコンピュータ」を開いても「リムーバブルディスク」が表示されない場合は、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してから再インストールしてください。

① パソコンとカメラを接続する
② カメラの電源を入れる
③ スタートメニューから「設定」→「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブを選択し、「種類別に表示」を選択して一覧から「不明なデバイス」を探し削除する
④ 「不明なデバイス」を削除したらカメラの電源を切り、USBケーブルを抜く
⑤ パソコンを再起動し、137ページの操作にしたがって付属のCD-ROM（カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア）からUSBドライバを再インストールする

重要

- 詳しい情報につきましては、付属のCD-ROM（カシオデジタルカメラアプリケーションソフトウェア）に収録されている「USB driver Type B」の「お読みください」をお読みいただくか、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト（http://dc.casio.jp/）をご覧ください。

画面に表示されるメッセージ

圧縮に失敗しました	画像データ記録中に圧縮不可能状態のときに表示されます。撮影し直してください。
インクを補充してください	プリント時に、プリンターのインクが減っている、またはインクが切れている場合に表示されます。
お気に入りのファイルがありません	お気に入りフォルダにファイルが登録されていないときに表示されます。
カードが異常です	メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示されるときは、フォーマットしてください(32ページ)。 **重要** • フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前にパソコン等を利用して、メモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カードがフォーマットされていません	メモリーカードがフォーマットされていないときに表示されます。メモリーカードをフォーマットしてください(32ページ)。
カードがロックされています	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードに付いているLOCKスイッチがロックされている状態です。この状態では、記録、消去などファイルを操作することができません。
この機能は使用できません	カメラにメモリーカードを入れない状態で、内蔵メモリーからメモリーカードへファイルをコピーしようとしたときに表示されます(116ページ)。
この画面は補正できませんでした	補正が実行できなかった場合に表示されます。補正せずに画像が保存されます(63ページ)。
このファイルではこの機能は使用できません	各種機能が実行できなかった場合に表示されます。
このファイルは再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
これ以上登録できません	ベストショットモードで「SCENE」フォルダの中にファイルが999シーンある状態でカスタム登録しようとした場合に表示されます。または、9999のお気に入りのファイルがすでにある状態で、さらにお気に入りのファイルを登録しようとした場合に表示されます(60、115ページ)。

設定したファイルが見つかりません	スライドショーの“表示画面”で設定した画像が見つからないときに表示されます。もう一度設定し直してください(90ページ)。
接続エラー	• プリンター接続時に、カメラのUSB設定がプリンターのUSB接続方式と合っていない場合に表示されます(128ページ)。 • パソコン接続時に、USBドライバがインストールされていない場合に表示されます(137ページ)。
電池容量が無くなりました	電池がなくなったときに表示されます。
電池容量が無くなりました ファイルが保存されませんでした	電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
登録可能な画像がありません	ベストショットモードで登録できる画像がないときに表示されます。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
フォルダが作成できません	999番のフォルダの中に9999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する必要があります(118ページ)。
プリントする画像がありません DPOF設定してください	プリントする画像が指定されていないときに表示されます。DPOFの設定を行ってください(130ページ)。
プリントエラー	プリント中のエラー時に表示されます。 • プリンター電源オフ、 • プリンター本体のエラー、など
メモリがいっぱいです	撮影可能枚数を使い切った場合、または編集後のファイルを保存できるメモリーの空きがない場合に表示されます。不要なファイルを消去してください(118ページ)。
もう一度、電源を入れ直してください	レンズに障害物が当たると、このメッセージが表示され、電源が切れます。障害物がないことを確認して、再度電源を入れてください。
用紙を補充してください	プリント時に、プリンターの用紙が切れている場合に表示されます。

レンズエラー	レンズが予期せぬ動作をしたとき、このメッセージが表示され、電源が切れます。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください(186ページ)。
SYSTEM ERROR	カメラのシステムが壊れていますので、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

主な仕様/別売品

主な仕様

品　名 . . . . .デジタルカメラ
機種名 EX-Z1050

■ カメラ機能

記録画像ファイル
フォーマット . . . . .静止画：JPEG(Exif Ver.2.2)、DCF(Design rule for Camera File system)1.0準拠、DPOF対応
動画　：AVI形式、Motion JPEG準拠
音声　：WAV

記録媒体 内蔵メモリー15.4MB
SDHCメモリーカード(SDHC Memory Card)
SDメモリーカード(SD Memory Card)
マルチメディアカード(MMC)
マルチメディアカードプラス(MMC*plus*)

記憶容量

- 静止画

画像サイズ (pixels)	画質	画像ファイルサイズ	内蔵メモリー 15.4MB	SDメモリーカード ※256MB
10M (3648×2736)	高精細-F	約 6.4MB	約 2枚	約 38枚
	標　準-N	約 3.38MB	約 4枚	約 72枚
	エコノミー-E	約 2.27MB	約 6枚	約 107枚
3:2 (3648×2432)	高精細-F	約 5.6MB	約 2枚	約 43枚
	標　準-N	約 2.97MB	約 5枚	約 82枚
	エコノミー-E	約 2.0MB	約 7枚	約 121枚
16:9 (3648×2048)	高精細-F	約 4.59MB	約 3枚	約 53枚
	標　準-N	約 2.46MB	約 6枚	約 99枚
	エコノミー-E	約 1.67MB	約 9枚	約 145枚
5M (2560×1920)	高精細-F	約 2.99MB	約 5枚	約 81枚
	標　準-N	約 1.62MB	約 9枚	約 150枚
	エコノミー-E	約 1.12MB	約 13枚	約 217枚
3M (2048×1536)	高精細-F	約 2.0MB	約 7枚	約 121枚
	標　準-N	約 1.15MB	約 13枚	約 211枚
	エコノミー-E	約 720KB	約 21枚	約 338枚
2M (1600×1200)	高精細-F	約 1.26MB	約 12枚	約 193枚
	標　準-N	約 790KB	約 19枚	約 308枚
	エコノミー-E	約 470KB	約 33枚	約 518枚
VGA (640×480)	高精細-F	約 330KB	約 47枚	約 738枚
	標　準-N	約 190KB	約 82枚	約 1282枚
	エコノミー-E	約 140KB	約 111枚	約 1740枚

- 動画

画質 (pixels)	1ファイル最長記録時間	転送レート (フレームレート)	内蔵メモリー 15.4MB	SDメモリーカード※ 256MB
高品位—HQ 640×480	メモリーの許す限り	約10.2 メガビット/秒 (25フレーム/秒)	約12秒	約3分15秒
標準—Normal 512×384	メモリーの許す限り	約6.1 メガビット/秒 (25フレーム/秒)	約20秒	約5分27秒
長時間—LP 320×240	メモリーの許す限り	約2.45 メガビット/秒 (12.5フレーム/秒)	約52秒	約13分34秒

※撮影できる枚数は目安であり、表示されている枚数よりも少なくなる可能性があります。

※画像ファイルサイズは目安であり、撮影対象により、画像ファイルサイズが変わります。

※松下電器産業(株)製の場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数は異なる場合があります。

※容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。

※撮影可能な動画のファイルサイズは、1ファイル最大4GBまでです。

消去.................1ファイル単位、全ファイル一括消去可能
（メモリープロテクト機能付き）
有効画素数 1010万画素
撮像素子.............1/1.75型正方画素原色CCD
（総画素数：1030万画素）
レンズ／焦点距離 ....F2.8-5.1/f＝7.9〜23.7mm
（35mmフィルム換算38〜114mm相当）
非球面レンズを含む5群7枚
ズーム...............光学ズーム3倍／
デジタルズーム4倍
（画像サイズ：10M（3648×2736 pixels）時）
（光学ズーム併用12倍）
焦点調節.............コントラスト検出方式オートフォーカス
フォーカスモード：
オートフォーカス（静止画のみ）／マクロモード／パンフォーカス（動画のみ）／無限遠モード／マニュアルフォーカス選択可能
AFエリア：
スポット／マルチ／追尾選択可能、
AF補助光付き
撮影可能距離
（レンズ表面より）....オートフォーカスモード：約40cm〜∞
マクロモード：約10cm〜約50cm
無限遠モード：∞
マニュアルフォーカスモード：約10cm〜∞
※ 光学ズームにより、範囲は変化します。
露出制御.............測光方式：撮像素子によるマルチパターン測光／中央重点測光／スポット測光
制御方式：プログラムAE
露出補正：－2EV〜+2EV（1/3EV単位）

シャッター ....CCD電子シャッター／メカシャッター併用
静止画（オート）：1/2〜1/1000秒
※ベストショットモードの一部では異なります。
夜景を写します：4〜1/1000秒
絞り値 ....F2.8〜F8.0※　自動切替式
※ F8.0はNDフィルター併用による値です。
※ 光学ズームにより、絞り値は変化します。
ホワイトバランス ....オート／固定（6モード）／マニュアル
感度設定 ....静止画：オート／ISO 80／ISO 100／
ISO 200／ISO 400／ISO 800
※メニュー画面で“ブレ軽減”を“オート”に、またはベストショットの“ブレ軽減”に設定した場合は最大ISO800、ベストショットの“高感度”においては最大ISO1600
動画：オート
セルフタイマー ......作動時間約10秒、2秒、トリプルセルフタイマー
内蔵フラッシュ ......発光モード：フラッシュオート、発光禁止、
強制発光、赤目軽減機能、
ソフト発光機能切替可能
フラッシュ撮影範囲：
広角時　約0.1m〜約3.3m
望遠時　約0.5m〜約1.8m
フラッシュ連写：
広角時　約0.4m〜約2.0m
望遠時　約0.5m〜約1.1m
※ ISO感度オート時
※ 光学ズームにより、撮影範囲は変化します。
撮影／録音関連機能 ..静止画撮影（音声付き）、マクロ撮影、セルフタイマー撮影、連写、ベストショット撮影、動画撮影（音声付き）、音声録音（ボイスレコード）
※ 音声はモノラルです。

音声記録時間.........音声付き静止画撮影:1画像につき最長約30秒間
ボイスレコード:約48分(内蔵メモリーの場合)
アフターレコーディング:1画像につき最長約30秒間
モニター.............2.6型ワイドTFTカラー液晶
114,960(479×240)画素
ファインダー........液晶モニター
時計機能.............クォーツデジタル時計内蔵
日付・時刻:画像データと同時に記録
タイムスタンプ機能あり
自動カレンダー:2049年まで
ワールドタイム......世界162都市(32タイムゾーン)に対応
都市名、日付、時刻、サマータイム
入出力端子..........USB/AV接続端子
USB................USB2.0(Full-Speed)対応
マイク...............モノラル
スピーカー..........モノラル

■ 電源部、その他

電源.................リチウムイオン充電池(NP-40)×1個
電池寿命
電池寿命は、温度23℃で使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間、または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

撮影枚数(CIPA)※1	約370枚
連続再生時間(静止画)※2	約9時間50分
動画連続撮影時間	約2時間50分
ボイスレコード録音時間※3	約12時間

- 使用電池:NP-40(定格容量:1300mAh)
- 記録メディア:SDメモリーカード
- 測定条件

※1 撮影枚数(CIPA)
CIPA規準に準ずる
温度(23℃)、液晶モニターオン、30秒毎にズームのワイド端とテレ端で交互に撮影、フラッシュ発光(2枚に1回)、10回撮影に1度電源を切/入操作
※2 連続再生時間
温度(23℃)、約10秒に1枚ページ送り
※3 ボイスレコード録音時間は、連続で録音したときの時間です。

- 前記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- フラッシュ、ズーム、オートフォーカスの使用頻度や電源が入った状態の時間により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力............DC3.7V　約3.8W
外形寸法............幅91.1mm×高さ57.2mm×奥行き24.2mm
(突起部除く、最薄部20.7mm)
質量................約125g(電池、付属品除く)
付属品..............リチウムイオン充電池(NP-40)、充電器(BC-31L)、電源コード、USBケーブル、AVケーブル、ストラップ、CD-ROM、取扱説明書(保証書付き)

■ リチウムイオン充電池(NP-40)

定格電圧…………….3.7V
定格容量…………….1300mAh
使用周囲温度 ………0～40℃
外形寸法…………….幅38.5mm×高さ38.0mm×奥行き9.3mm
質量…………………約34g

■ 充電器(BC-31L)

入力電源…………….AC100－240V　80mA　50/60Hz
出力電源…………….DC4.2V　600mA
使用周囲温度 ………5～35℃
適合電池…………….リチウムイオン充電池(NP-40)
充電時間…………….約2時間30分
サイズ……………….幅55mm×高さ20mm×奥行き86mm
(突起部含まず)
質量…………………約58g

別売品

- 充電器　BC-30L
- リチウムイオン充電池　NP-40
- ソフトケース　ESC-90
- ソフトケース　ESC-91
- ネックストラップ　ENS-1
- ネックストラップ　ENS-2
- ウォータープルーフケース(防水ケース)　EWC-90

別売品は、お買い求めの販売店、またはカシオ・オンラインショッピングサイト(e-カシオ)にご用命ください。
e-カシオ：http://www.e-casio.co.jp/

カシオデジタルカメラに関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトでもご覧になることができます。
http://dc.casio.jp/

索引

英数字

あ

な

は

ま

や

ら

わ

保証・アフターサービスについて

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

l 保証期間中は
保証書の規定に従って取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店が修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店までご連絡ください。

l 保証期間が過ぎているときは
取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承いただきたいこと

l 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。
また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。

l 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。

l 修理のとき、故障原因の解析のため、データや画像を確認させていただくことがあります。

l 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

l 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、生産終了後7年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために不可欠な部品のことです。

■ アフターサービスなどについておわかりにならないときは

取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

機能・操作のご相談窓口 ⇨ カシオお客様相談室

■ 製品の機能、操作等に関するご質問に、お電話でお答えいたします。

0570-088908 市内通話料金のみでご利用いただけます。

携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合は、03-3320-5365へお掛けください。

受付時間　月曜日～土曜日　AM　9:00～PM5:30
日曜日・祝　日　AM10:00～PM5:00
（システムメンテナンス日等、弊社指定休業日は除く）

修理のご相談窓口 ⇨ カシオテクノ修理相談窓口

修理品のお持ち込みはできません。ご送付のみの受付となります。
修理品をお持ち込みいただく場合は、カシオテクノ・サービスステーションをご利用ください。

※ご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。

東日本リペアセンター（北海道・東北・関東・信越）

0570-004161 市内通話料金のみでご利用いただけます。

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平3-28-2
（携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合 TEL.042-560-4161）

東海リペアセンター（北陸・東海・近畿）

0570-090109 市内通話料金のみでご利用いただけます。

〒418-0034 静岡県富士宮市黒田335-1
（携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合 TEL.0544-27-0109）

中四国コンシューマサービスステーション（中国・四国）

TEL.082-230-5900

〒736-0068 広島県安芸郡海田町新町10-13

九州コンシューマサービスステーション（九州）

TEL.092-411-2939

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-16-23 カシオ福岡ビル2F

受付時間：月曜日～土曜日　AM9:00～PM6:30（日・祝日・年末年始・夏期休暇等は除く）

カシオテクノ・サービスステーション

修理品の「お持ち込み」を受け付けております（お買い上げの販売店へのお持ち込みも可能です）。
カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

北海道

拠点	電話	〒	住所
札　幌	☎ 011－281－1231	〒060-0063	札幌市中央区南3条西10－1001－5

東北

拠点	電話	〒	住所
仙　台	☎ 022－256－8822	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡5－1－35
盛　岡	☎ 019－646－3395	〒020-0122	盛岡市みたけ6－15－5

関東

拠点	電話	〒	住所
宇都宮	☎ 028－623－5588	〒320-0053	宇都宮市戸祭町3009－8
水　戸	☎ 029－228－3155	〒310-0021	水戸市南町3－4－14
高　崎	☎ 027－322－9555	〒370-0831	高崎市あら町67－1
埼　玉	☎ 048－250－2660	〒332-8521	川口市栄町3－1－8
千　葉	☎ 043－243－1087	〒260-0022	千葉市中央区神明町13－4
秋葉原	☎ 03－5820－9871	〒101-0025	千代田区神田佐久間町2－23
多　摩	☎ 042－540－4880	〒190-0012	立川市曙町1－11－9
横　浜	☎ 045－441－2177	〒221-0052	横浜市神奈川区栄町3－12

信越

拠点	電話	〒	住所
新　潟	☎ 025－287－1151	〒950-0925	新潟市弁天橋通り3－9－12
長　野	☎ 026－222－3250	〒380-0912	長野市大字稲葉字日詰1592－1

北陸

拠点	電話	〒	住所
金　沢	☎ 076－224－0061	〒920-0027	金沢市駅西新町2－1－35

東海

拠点	電話	〒	住所
静　岡	☎ 054－281－8085	〒422-8056	静岡市駿河区津島町16－23
名古屋	☎ 052－324－2151	〒460-0024	名古屋市中区正木3－9－27

近畿

拠点	電話	〒	住所
京　都	☎ 075－351－1161	〒600-8107	京都市下京区五条通新町東入ル東錺屋町186
大　阪	☎ 06－6243－6211	〒541-0056	大阪市中央区久太郎町3－6－8
神　戸	☎ 078－392－2145	〒650-0033	神戸市中央区江戸町85－1

中国

拠点	電話	〒	住所
岡　山	☎ 086－244－3404	〒700-0926	岡山市西古松西町9－1
広　島	☎ 082－230－5900	〒733-0001	広島市西区大芝2－14－10

四国

拠点	電話	〒	住所
高　松	☎ 087－837－7641	〒760-0078	高松市今里町2－21

九州

拠点	電話	〒	住所
福　岡	☎ 092－411－2939	〒812-0007	福岡市博多区東比恵2－16－23
熊　本	☎ 096－340－8283	〒861-8028	熊本市新南部4－7－38
鹿児島	☎ 099－256－3573	〒890-0065	鹿児島市郡元1－1－3

※ 住所・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

保証規定

1. 保証期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 修理の必要が生じた場合は、製品と本書をカシオテクノ・サービスステーションまでご持参いただくか、カシオテクノ修理相談窓口までご送付ください。またはお買い上げの販売店へご持参ください。
3. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
   - イ. お買い上げ後の輸送、移動時のお取り扱いが不適当なため生じた故障・損傷
   - ロ. 誤用、乱用および取り扱い不注意、落下、水没、水かぶりなどによる故障・損傷(表示画面付きの製品では、画面のガラス割れなど)
   - ハ. 不当な修理または改造による故障・損傷
   - ニ. 電池の液漏れなどによる故障・損傷
   - ホ. 火災、地震、水害、その他の天災地変および異常電圧による故障・損傷
   - ヘ. 消耗品(電池など)および付属品のお取り替えの場合
   - ト. 本書の提示がない場合および本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 修理内容などの記録は修理伝票にかえさせていただきます。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

カシオ保証書

This warranty is valid only in Japan.（この保証書は日本国内のみにて有効です）

持込修理

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上、カシオテクノ修理相談窓口またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

★ご販売店様へ
この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ずご記入の上お客様にお渡しください。

品名		デジタルカメラ
機種名		EX-Z1050
保証対象		本体・充電器
保証期間		お買い上げ日より１年間
		お買い上げ日　年　月　日
お客様	お名前	様
	ご住所	〒　－
	電話	
販売店	住所・店名	
	電話	

カシオ計算機株式会社

〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2　☎03-5334-4111（代表）

B847D010

MA0703-B　Printed in China